

新型コロナウイルス ワクチン 小児(5歳から11歳)への オミクロン株対応ワクチン接種の実施等について

このたび、国の省令改正により、新たに小児（5歳から11歳）を対象とした、新型コロナウイルス ワクチン（オミクロン株対応ワクチン）の追加接種が行われることになりました。

横浜市では、次のとおり実施しますので、ご案内します。

また、武田社ワクチン（ノババックス）の追加接種の対象年齢が、18歳以上から12歳以上に引き下げられました。

1 令和4年秋開始接種（小児）の概要

(1) 対象者

初回接種（1・2回目）を完了した5歳から11歳までの方で、前回接種日から3か月を経過した方 ※3回目接種の有無に関わらず、接種可能です。

(2) 接種開始日

令和5年3月20日（月）以降、順次接種

※ワクチンが配送され次第接種を開始するため、開始日は医療機関によって異なります。

(3) 使用するワクチン等

ファイザー社製 オミクロン株対応ワクチン 5～11歳用

（従来株・オミクロン株(BA.4/5)の両方に対応した2価ワクチン）

※12歳以上の方向けのワクチンとは用法・用量が異なる製剤のワクチンです

(4) 接種間隔

3か月 ※令和5年3月8日（水）から、5か月から3か月に短縮されました。

(5) 接種体制

小児科を中心とした個別医療機関（約300医療機関※）で実施

※令和5年3月1日現在

2 個別通知（接種券含む）の発送スケジュール

<4回目接種券>

発送日（目安）	3回目接種日
令和5年3月20日（月）	令和5年1月13日（金）まで
令和5年3月27日（月）	令和5年1月20日（金）まで
以降順次発送	

※接種可能日（前回接種から3か月を経過する日）の約3週間前を目安に発送（3/27発送分以降）

※郵便事情により、お手元に届くまでに最長1週間程度かかります。

裏面あり

< 3回目接種券 >

発送日（目安）	2回目接種日
令和5年3月20日（月）	令和4年11月7日（月）から 令和5年1月13日（金）まで (※接種間隔が前回接種の5か月後から3か月後に 短縮されたことから発送を前倒します)
令和5年3月27日（月）	令和5年1月20日（金）まで
以降順次発送	

※接種可能日(前回接種から3か月を経過する日)の約3週間前を目安に発送(3/27 発送分以降)

※郵便事情により、お手元に届くまでに最長1週間程度かかります。

3 接種場所及び予約方法

(1) 予約開始日

令和5年3月10日（金）

※予約開始日は医療機関によって異なります。

※既に3回目接種券を持っている方は、すぐに予約できます。

(2) 接種場所

小児科を中心とした個別医療機関で接種します。

小児接種を実施する医療機関の一覧を市Webサイトでご案内しています。

《URL》

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/vaccine/vaccine-portal/shoni-yoyaku.html>



(3) 予約方法

医療機関で直接予約を受け付けます。

※一部医療機関では、市の予約専用サイト（Web）や予約センター（電話）により、予約を受け付けています。

《市予約専用サイト URL》 <https://v-yoyaku.jp/141003-yokohama>

《予約センター(電話)》 0120-045-112



4 小児接種の情報提供

接種する際は保護者の同意が必要です。接種するメリットとデメリットを考慮いただき、接種を受けるご本人（お子さま）ともご相談の上、ご判断ください。

なお、小児接種の有効性と副反応について、市ウェブサイト等で周知しています。

接種について疑問や不安があるときは、かかりつけ医等にご相談いただくか、新型コロナウイルスワクチン接種コールセンターにお問合せください。

《新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター》

電話：0120-045-070 ※ガイダンスに沿って「2番 小児接種」を選択してください

5 その他（武田社ワクチン（ノババックス）の追加接種の年齢引き下げについて）

武田社ワクチン（ノババックス）の追加接種（3回目、4回目、5回目）の対象年齢が、令和5年3月8日（水）から、これまでの18歳以上から12歳以上に引き下げられました。

お問合せ先

【1、3、5について】

健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長 曾我 直樹 Tel 045-671-4841

【2、4（広報）について】

健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長 鈴木 真実 Tel 045-671-4841

【4（コールセンター）について】

健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長 丸山 真隆 Tel 045-671-4841

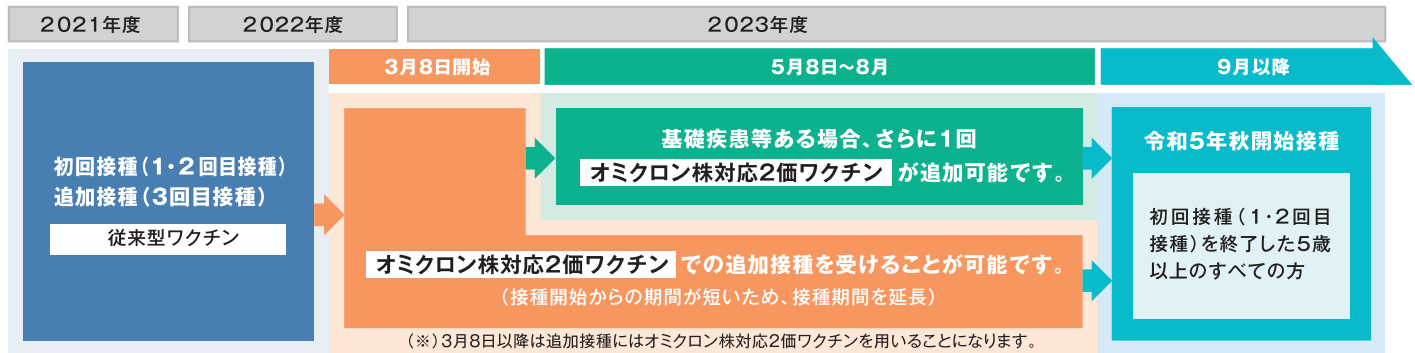
5歳から11歳のお子様への追加接種も



3月8日から、オミクロン株対応2価ワクチンになります。

5歳から11歳のお子様の接種スケジュール

- オミクロン株対応2価ワクチンは、少なくとも1・2回目接種を完了した5～11歳のお子様を対象です。
- 最後の接種から3か月以上、間隔をあけて接種します。ファイザー社の5～11歳用のオミクロン株対応2価ワクチンを使用します(※)。(※)ファイザー社の12歳以上のものに比べ、有効成分が1/3になっています。



初回接種(1・2回目接種)が
まだの方

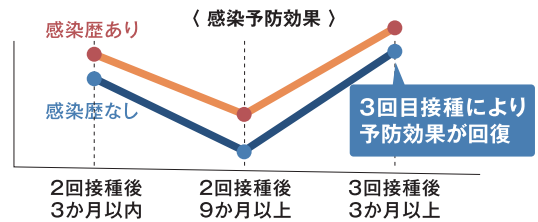
まずは、1・2回目接種(従来型)を受けてください。

(※)1・2回目接種(従来型)が完了すれば、最後の接種から3か月以上間隔をあけて、オミクロン株対応2価ワクチンを接種できます。

Q1. 3回目接種には、どのような効果がありますか？

A1. 3回目接種(従来型ワクチン)により、現在流行しているオミクロン株に対して、感染しにくくなる効果が期待できます。

米国において、5～11歳の子どもを対象とした研究で、従来型ワクチンの初回接種の効果は徐々に低下し、9か月以上経過すると大幅に低下すると報告されていますが、従来型ワクチンを追加で接種して3～5か月経過すると、新型コロナへの感染があっても、感染予防効果は50～60%程度であったと報告されています。



出典:Khan FL et al. Estimated BNT162b2 Vaccine Effectiveness Against Infection With Delta and Omicron Variants Among US Children 5 to 11 Years of Age. JAMA Netw Open. 2022 Dec 1;15(12):e2246915.

Q2. 子ども用のオミクロン株対応2価ワクチンは、海外で使用されていますか？

A2. 子ども用のオミクロン株対応2価ワクチンは米国ですでに使用されており、安全上の大きな問題はないと報告されています。

米国においては、2022年10月から子ども用に使用されており、米国CDC(疾病管理センター)の報告によれば、80万回以上接種された実績に基づいて、安全性の評価が行われています。米国で接種を受けた方や親などの報告に基づくデータによると、発熱は約19%、疲労感約30%、頭痛は約20%の方に現れたとされています。また、医師等による報告に基づくデータによると、接種後の死亡や心筋炎と報告されたものはないとされています。

- ◎ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。また、5歳から11歳のお子様のワクチン接種には、保護者の同意と立ち会いが必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、ワクチンを受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

- ◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

ホームページをご覧にならない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索

